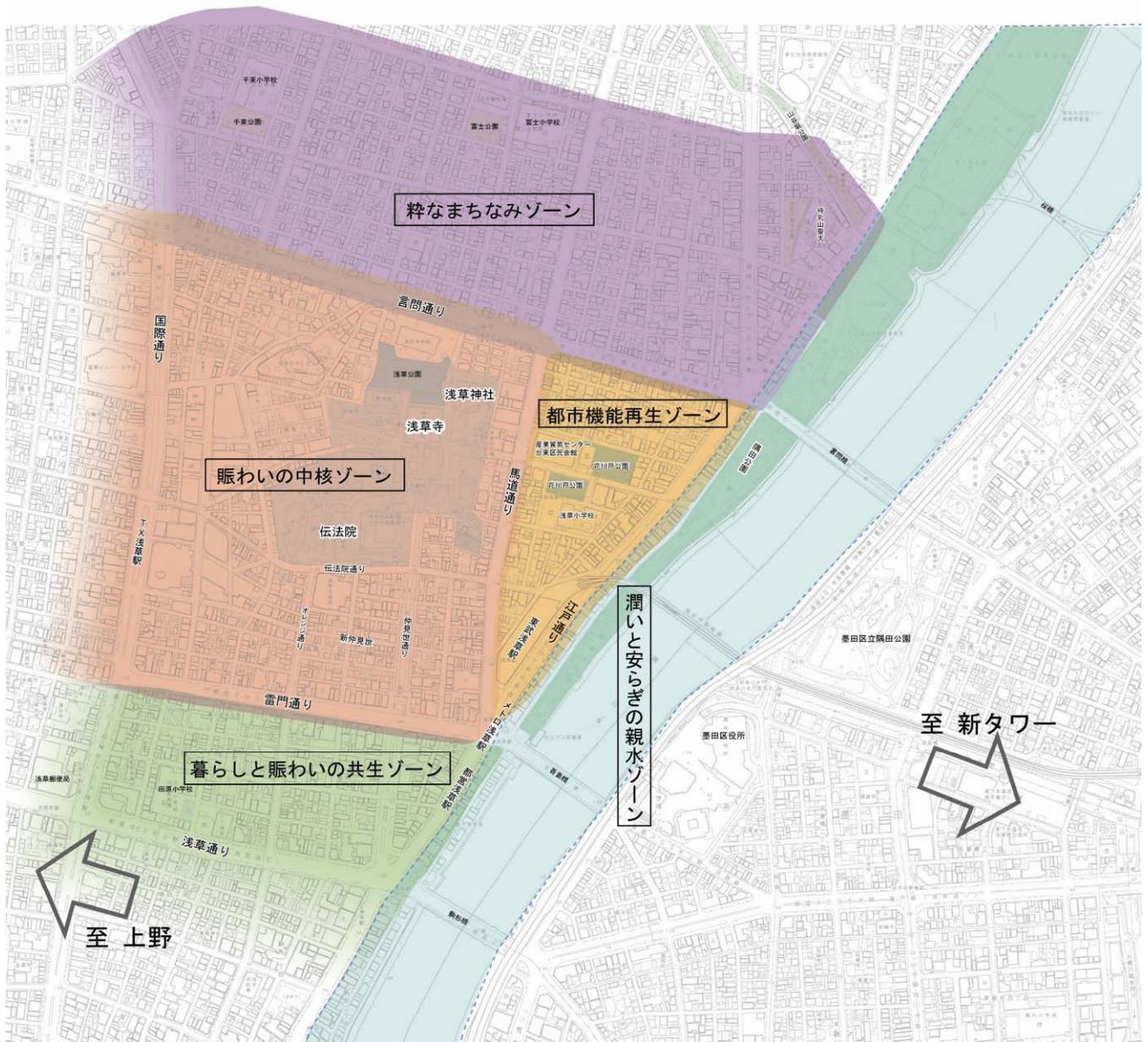


地域の特性とまちづくりの方向性

- ・土地利用等の特性にまとまりのあるエリアをゾーン区分した。
- ・各ゾーンの特性と、これを踏まえた将来のまちづくりの方向性を整理した。



なお、上記ゾーンの外側に隣接する周辺地域については、各ゾーンのまちづくりの方向性と整合を図りつつ都市計画マスタープラン等に示された地域整備の方針に基づいて、まちづくりを推進するものとする。

ゾーン	ゾーン特性 / まちづくりの方向性
賑わいの中核ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・国際通り、言問通り、雷門通り、馬道通りといった幹線道路の沿道に囲まれたエリアは、古くから浅草地域の賑わいの中心地区であり、浅草寺や娯楽・芸能等の歴史・文化を感じることができる店舗等が集積している。 当ゾーンの歴史・文化の特徴を活かした江戸・明治・大正・昭和を感じる街並み整備による域内のテーマパーク化を図り、賑わいを呼び込むための環境や観光サービスの多様化および来訪者の長時間滞在に対応したまちづくりを推進する。
都市機能再生ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの中核ゾーンの東側に位置し隅田川に挟まれたエリアには、靴・草履の履物問屋等が集積する一方、産業貿易センター、東武浅草駅ビルなどの大規模な施設機能も集まりながら、低層の住宅街も混在している。 こうした土地利用の現状を見据えつつ、浅草の玄関口に相応しい交通施設機能の更新も含めた都市機能再生を推進して、隅田川の親水ゾーンと賑わいの中核ゾーンを結びつける一体的なまちづくりを誘導する。
潤いと安らぎの親水ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・隅田川沿川には、隅田公園や水上バス乗り場などがあり、浅草地域の潤いと楽しみの要素を備えているものの、沿川の建物も川に面して顔を向けておらず、親水テラスも未整備部分が残るなど、水辺空間の魅力をも十分に活かしきっていない状況にある。 まちの賑わいと一体となった人と自然が織りなす都市空間を、自然を大切にしながら創り出す一方、隅田公園と連携した親水空間整備の充実と活用を推進する。また、河川の公共交通としての舟運ルートの開拓や水上バス乗り場の更新など、潤いと楽しみのある環境整備に努めて観光誘客の一翼を担う多様性のある魅力を創出する。
粋なまちなみゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた料亭、個性ある老舗・名店が点在し、下町情緒たまたよう街並みを醸し出すエリアである。さらに、江戸歌舞伎隆盛の地、猿若三座の歴史性ととも、花柳界の伝統文化やお富士さんの植木市などの年中行事も観られるエリアである。 下町情緒を活かしたまち全体の活動の中で、江戸・下町文化の「粋」を体感できるまちづくりを推進するとともに、賑わいの中核ゾーンとの一体的な集客連携を目指す。
暮らしと賑わいの共生ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸通り、浅草通り、国際通り、雷門通りに囲まれ鉄道駅にも近接するなど、交通の利便性に優れた土地柄から居住機能とともに業務機能が集積するエリアとなっている。 暮らしや働きやすさに優れた土地柄を維持しつつ、暮らしと業務が共生できる環境に配慮したまちづくりを推進して、定住人口の増加や経済活力を支える街並み整備を図る。